

GLORY

○2015年9月24日(水) 第7号

○発行：生徒会『GLORY』編集委員

高校生フェスティバル学内実行委員

こんな取り組みをする部活動もあります。

「本校は部活動が活発な学校である」ということはご存じの通りです。ところが、その活動実態について目にする機会は、なかなかありません。文化部は、一体どこで、どんな報告・発表・活動をしているのか？運動部だって、単純に練習しているだけではありません。そんな、活動の一端をのぞいてみましょう。

箏曲部

夏休み中に行われた「雁ぶら夏祭り」に参加し、老人介護施設「高辻アミーユレジデンス」で演奏してきました。昨年も重度の障害をもつ中高生の施設を訪れ、同じように演奏しました。自分達とは異なる環境に生きる人と、繋がることができる良い経験です。普段関わる機会の乏しい人とも、部活動を通じて知り合うことができます。そして、音楽は共通言語として、高い壁を取り払う役割を担ってくれます。このような経験を、多くの方が共有できるとよいですね。



卓球部

卓球部も毎年恒例となっている「一宮聳学校との合同練習会」を行いました。難聴というのが、スポーツにとってどれだけのハンデになるか、想像してみてください。そして、どうすればコミュニケーションを上手にとれるのか、を。卓球部の人たちは「筆談」と「ジェスチャー」を使っていました。これからやる練習がこういったものなのか。何を目的にしたらよいのか。練習が始まれば、どこにポイントをおけばよいのか。当然のことながら、教える側がよくわかっていないと、周りに教えることはできません。そして、「筆談」とは想像よりも「時間がかかる」ものです。声で伝えれ

ばすぐに出来ることでも、一手間二手間かかってしまうのです。これを面倒くさいと思わないように。

この時間を通じて、卓球部のみなさんは日常とは異なる経験ができたことでしょうか。卓球部のOGの中には、この経験が進路選択にも影響を与えたとも聞きました。そんな経験をどんどん積んでいきましょう。



理科部

理科部といえば、毎月定期的に行っている「山崎川のボランティア活動」を通じた環境に関する地域活動が、ずいぶんと有名になってきました。『山崎川四季の道街路樹保存会』の皆さんと一緒に、かなえ橋から石川橋にかけて実施しています。もう今年で4年目を迎えました。生物調査も同時に行い、先日はカメの調査を実施し、仕掛けた罠でニホンスッポン1匹、クサガメ2匹を捕獲しました。これらは、個体識別用のマーキングや種類・性別などを記録し、川へ放します。

こうした生物調査の活動や調査結果は、色々な機会を発表しています。昨年は「全国高校生ESDセミナー」でも発表しましたし、なごや生物多様性センターのイベントにも積極的に参加しています。近いところでは、下記のイベントにも参加しますので、是非足を運んでみてください。

「第2回 なごや生物多様性センターまつり」(入場無料 小雨決行)

自然や生き物について、子どもから大人までみんなが気軽に楽しんで学べる内容が盛りだくさん！是非お越しください！

日時：11月1日(日) 午前10時～午後3時

場所：なごや生物多様性センター

- ・名古屋市天白区元八事5-230
- ・地下鉄塩釜口駅2番または3番出口から徒歩5分
- ・TEL：052-831-8104

その他のボランティアも旺盛に行われています。

〈東北ボランティア〉

名古屋経済大学の主催で行われている「東北大震災ボランティア」に、今年も高蔵の生徒が参加しました。名古屋を離れた東北の地で、普段はほとんど関わらないであろう大学生の人たちとの共同作業。慣れない環境でのボランティア活動は、普段の生活よりもずっと疲れます。そんな中、参加生徒は「農業（ビニルハウスでの）手伝い」「地元の大学生との意見交流」「ようやく開通した線路で女川駅を訪れ」「被災地を視察」「海岸沿いで営業するお店を手伝い」「仮設住宅で暮らす高齢者を訪問」という、密度のある時間を過ごす事ができました。

「何かあった時、結集してくれることが嬉しい」という言葉をいただきました。自然災害という行き場のない苦しみ・悲しみと向き合っている人たちと接し、自分の力の無さを感じるとともに、それでも「何か力になれることがある」ことを実感する経験となりました。今後の生活に是非生かしてほしいです。



〈学校見学会ボランティアスタッフと参加部活〉

8月後半には、高蔵高校入学を考えている中学3年生たちに向けて、学校見学会がひらかれました。その手伝いを募ったところ、「やってもよい」と自らかってでてくれた生徒が数十人もいました。その一人一人から、「高蔵の良さを一人でも多くの人に知ってもらいたい」という気持ちを十分に感じることができました。見学会の中でも、「高蔵の最大の特徴・売りは、生徒です。今日、ここでそれを見てください。」と紹介されました。その最大の魅力を少しでも多くの来場者感じて欲しいという思いで募ったボランティアスタッフ。大成功でした。

また、毎年のことながら、たくさんの部活動にも協力いただいています。演技・演奏だけでなく、部活動体験や講座まで、会のほとんどを生徒がつくっています。「学校見学会に来て、そこで見た先輩たちに惹かれて入学を決めました。」という声も聞いた事があります。そんな生徒たちが、来場者をもてなす姿は、本当に頼もしいものでした。誇らしく思います。



〈理科部〉

山崎川の清掃ボランティアに加えて、今年の夏休み中の8月8日には、「名古屋気候測定調査」に参加しました。これは、自然環境による気温低下の実証のため、名古屋市内161カ所の気温を一斉に調査するもので、名古屋市が主催でおこなわれたものです。ボランティアの有志が、午前5時から午後8時まで、1時間おきに観測しました。同日には春日井市、瀬戸市、多治見市でも同様の観測が行われており、本校理科部は、その大規模のもの的一端を担いました。

生徒会の活動

8月1日、「ヤングサポーターみずほ」の活動の一環として、瑞穂区民祭りに参加しました。コーナーを設け、他校の生徒会の生徒とともに、缶バッジ作成のお手伝いをしたり、防犯啓発キャンペーンを行ったり、来場者が少しでも快適に過ごせるようにと活動しました。

